

タイトル [ 2014 年 2 月 6 日同学会訪日記事 ]



訪問団一行は CA803 便に乗り上海の浦東空港から福岡へやってきました。  
当日は、私たちが留学していた第 2 の故郷である長崎へ、福岡から車で移動しました。  
そして中国駐長崎領事館と長崎市役所の訪問が終わった後、夜に私たちのために長崎県が主催の盛大な歓迎会へ参加し、長崎県各界の方々や久々に先生や同級生に再会しました。  
それぞれ元気一杯で、準備万端で飛行機が着くのを今か今かと待っています。  
思わぬことで飛行機が遅れましたが、幸い 30 分程で延着しました。



そしてついに、到着ロビーを出て、迎えの大型バスに乗り込みました。

まず新鮮な空気で一呼吸しました。とても心地よくさわやかな陽気でした。  
その後、緊急に領事館と市役所に連絡し、訪問時間を遅くしました。  
総領事はとても親切で、道中くれぐれも安全第一であるようにおっしゃり、急ぐ必要はない  
ということで、私たちはひととき親近感を感じました。感動しました。



遅れて、市役所に到着しました。長崎市長とお会いして、活動報告を行いました。



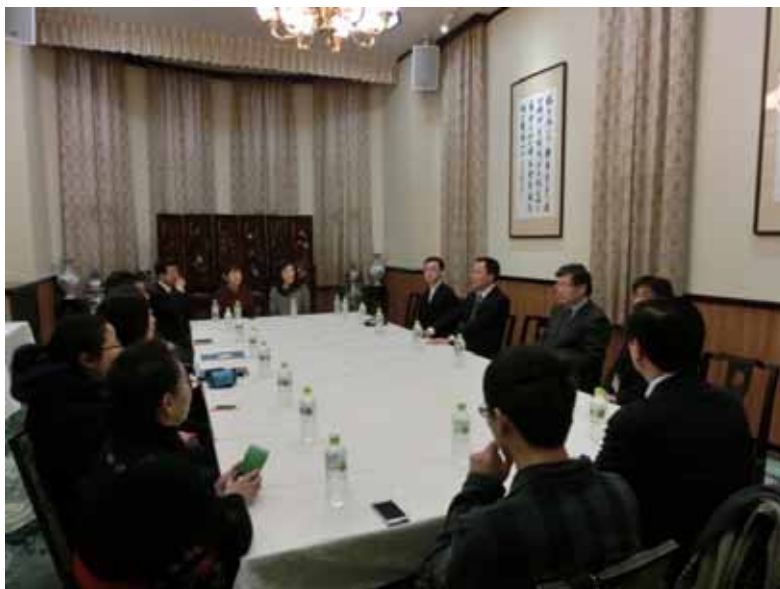
田上富久市長は先生の様で、優しく微笑まれており、和やかで親しみやすい方です。



同学会一行もリラックスして、話し合いを行いました。



尊敬できる素敵な市長と一緒に集合写真を撮りました。  
市長のご多忙中の接待に感謝します。



その後急いで、予定時間内で中国駐長崎総領事館に到着しました。領事館は、留学当時とあまり変わっていませんでした。ここに来て、以前住んでいたところを再び訪問して、郷愁にかられました。

私たちは長崎留学の際、新年や節句のたびにここで祖国のごちそうを味わいました。特に春節の餃子で、大きな客間にそれぞれの学校の留学生一同が集まり、春節を祝います。昔のことが一つ一つ思い起こされて、様々な感情を抱きました。



話し合いの後、鄧偉総領事(前列中央)と一緒に記念撮影を行いました。



午後6時、歓迎会及び交流会が始まりました。長崎県は今回の訪問を重視して、私たちのために盛大な宴会の準備をしてくれました。まず始めに、里見長崎県副知事から歓迎の挨拶

がありました。里見副知事は、2014年8月3日に上海にて開催した中国長崎同学会設立総会にも参加されました。



続いて、長崎留学生支援コンソーシアムの片峰茂会長(長崎大学学長)より歓迎のご挨拶がありました。

長崎留学生支援コンソーシアムは長崎県の産官学の26団体で構成されている組織で、生活支援、募集支援、就職支援などの留学生支援を行っています。

コンソーシアムの事務や実行機関は、長崎留学生支援センターです。

センターは中国長崎同学会設立のために大きなサポートを行い、また日本側での各機関とのやり取り等を請け負ってくれました。長崎留学生支援センターには感謝しています。



鄧偉中国駐長崎総領事よりご挨拶がありました。鄧偉総領事は、同学会へ大きな激励と称賛を下されました。そして、今後同学会が長崎と中国の交流のために尽力してくれることを願っていました。

長崎の総領事館は在日本の7つの大使館・領事館のひとつです。中国駐長崎領事館は1985年5月に建てられ、今年で開設30周年になりました。

身近に中国領事館があり、安心して留學生活が送れます。また、長崎は上海への航路があり、毎週直行便が2便就航しており、往来がとても便利です。



中国長崎同学の楊磊会長より感謝の挨拶がありました。今日一日の報告とこれまでの長い道のりについて話し、楊会長は多少緊張と疲労が見えました。幸いにもスピーチ原稿を準備しており、順調に難関を突破しました。長崎県と長崎県民に向かって、感謝の意を表し、細やかな優しさに感謝しました。



楊磊会長の挨拶の後、長崎県議会の渡辺敏勝議長より、乾杯の音頭がありました。渡辺議長は、2013年11月7日の帰国留学生との交流会にも、長崎県訪中代表団の一員として参加されました。

渡辺議長より、今後の長崎と中国の友好と中国長崎同学会の発展を願っているとの挨拶があった後、乾杯しました。



交流会が始まり、それぞれの事業が順調にいくことと健康を祈って乾杯し、楽しみました。まず久しぶりに恩師と親密に交流しました。



鄧偉中国駐長崎総領事、長崎県文化観光物産局の松川久和局長、現役留学生会の許諾会長との集合写真



15年ぶりに恩師と再会し、とても感慨を覚えました。感謝する恩師がいらっしゃるからこそ、今の私があるのです。



元有益日本語学校で学んだ友人達は、皆さんにそれぞれ現状を報告し、長崎への感謝と昔懐かしい話をしていました。





交流会の全体の雰囲気が和やかで、談話も熱心にされており、来賓の方や同学会の全メンバーも楽しそうにしていました。

しかしながら、終わらない宴会はなく、終了の時間が迫ってきました。

長崎留学生支援コンソーシアムの副会長で、長崎商工会議所の会頭である上田恵三副会長より中締めのご挨拶がありました。再度、各位のおもてなしに感謝したいと思います。



2月9日、訪問団一行は長崎大学へ行き、長崎大学の現役留学生と友好のための交流を行いました。先輩として、後輩へいくつかアドバイスをを行いました。



祝各位現役留学生生活快乐，学业有成。辛苦但定会有成果，希望大家努力，为你们加油。  
交流会の後、現役留学生が先輩に国内の就職状況等について質問しました。

今と昔の留学生の時代背景は違えども、経歴などや感じるものが似ていて、一緒にいて話が尽きませんでした。

現役留学生の皆さんの学業や生活が楽しいものになるように祈っています。

大変ですが必ず成果があるので、皆さんも努力されるのを期待し、私たちも頑張りたいと思います。



2月9日の午後、同学会一行は長崎県庁を訪問し、中村法道県知事と会談しました。同学会は知事に、設立からの会員の状況を報告し、会員が130人おり、大多数は上海近くの人で、他にも鄭州、南京、香港や日本各地にも会員がいることを伝えました。

今後同学会は引き続き会員を増やし、一つの意義ある組織にしたいと思っています。

中村知事は同学会を高く称賛し、そして今後さらに努力を激励され、長崎と中国の友好な交流が絶えず深まることを願っていました。



同学会より知事へ贈り物をしました。



中村法道知事(前列右から4番目)と一緒に記念写真を撮りました。



長崎での受入れの様々な心遣いと、私達のような海外からの旅行者への寛容さ度量の大きさに感謝します。

私たちはまるで家に帰ったような心地でした。私達の大変でも楽しい留学時代を過ごした、長崎のすべてを偲びます。

手を振って、懐かしい長崎に別れを告げ、私たちはまた帰ってきたいと感じました。

～ 長崎訪問 終 ～